

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年12月23日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから12月23日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、1ページ目の一番下、12月26日の（3）高経年化の件の新たな制度についての事業者との意見交換会です。

ウェブ方式で、事業者側はATENA（原子力エネルギー協議会）と原子力発電所を有する全事業者が参加します。規制庁からは今週の委員会の資料を説明しまして、事業者側もATENAが意見とか質問をまとめた資料を配付するというもようです。事業者側から要望があれば、年明け以降、2回目以降の開催も考えられます。

次が、12月27日の（5）です。1F（福島第一原子力発電所）事故の知見の規制への取り入れ、水素防護ですけれども、その件についての事業者意見聴取会合で、4月、7月に続いて3回目です。

これは9月14日の委員会で、事業者の自主的な取組をフォローアップしましょうということになりましたので、それを受けまして、今回、事業者がアクションプランを作成したということですので、そのアクションプランの説明というものがあります。

次が、12月27日の（6）特定原子力施設、これは1Fですけれども、その審査会合です。

引き続きALPS（多核種除去設備）処理水の海洋放出の件ですけれども、今回で審査会合としては了ということになりまして、年明け以降、委員会での認可に向けた議論に入っていく見込みです。

次が、12月27日の（7）、来週の火曜日のこの場、記者ブリーフィングですけれども、今週の委員長会見で宿題になっていました高経年化の件の内部資料について、事実関係の説明も併せてすることになっています。

次、3ページ目に行きまして、3ポツの委員の現地視察の（2）1月6日に委員長と伴委員がQST（量子科学技術研究開発機構）の放射線医学研究所を視察します。被ばく患者の受入れ施設とか、一昨年に規制委員会から補助金を受けて建設された「高度被ばく医療線量評価棟」を見る予定になっています。発表のとおり現地の取材が可能です。

年末年始の予定ですけれども、委員会の定例会は、既にお知らせもしていますけれど

も、来週の12月28日はあり、1月4日はなし、1月11日はありということになります。委員長の記者会見も同様です。

この場、この記者ブリーフィングは、来週の火曜日、12月27日はありで、1月6日金曜日はなしで、1月10日火曜日はありということになります。

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。質問のある方は手を挙げてください。

では、マスイさん。

○記者 27日の記者ブリーフィングで、高経年化の内部資料を事実関係も含めて説明というのをもうちょっと詳しく教えてもらえるとありがたいです。

○黒川総務課長 おとといの委員長の会見で、原子力資料情報室さんが記者会見されたときの資料で、規制庁が作ったとされる内部資料がこういうものがあってというものがあつたと思います。それについての事実関係、規制庁で作成されたものなのかどうか、作成されたもののだとしたら、どういう目的で誰が作ったのか、その経緯といった、そういったような説明になります。

○記者 規制庁としてはもう調査して、内部資料かどうかというのははっきりしているのでしょうか。

○黒川総務課長 そこはまさに今調査中でありまして、調査中であるのと、結局、作ったのかどうかは別として、作ったとしてどういう目的でとか、いつ頃とか、そういうものも大事になりますので、いずれにしても火曜日にもとめて御説明しようと思います。

○記者 説明するのは黒川さん。

○黒川総務課長 私と金城規制企画課長で説明をする予定です。

○記者 あと、水曜日の委員長の会見で、10月5日以降はエネ庁と規制庁の面談録があるけれども、それより前はないので、調べて明らかにしてほしいと記者から要望があつたと思うのですが、その件についてはどうなっているのでしょうか。

○黒川総務課長 それも多分一体のものだと思いますけれども、特に資料は恐らく残っていないので、資料としてはなくて、あと、面談というのもの、要はいろいろな形でいろいろな接触は、当然、役所同士なのであるのですが、どう定義するかみたいなものもありますので、何回とか、誰と誰がどの場でみたいに全部特定するのはなかなか難しかろうかとは思いますが、いずれにしてもどのようなやりとりが10月5日より前にあつてというような話はできると思います。

○記者 黒川さんも見られたと思うのですが、かなり細かく書いてある資料で、8月24日に首相が運転期間延長を指示して、9月1日に規制庁が辞令を出すという、1週間であれだけ作れるかなと思っていて、GX（グリーントランスフォーメーション）より前

にやりとりがあったかのどうかというのほどまで分かっているのでしょうか。

○黒川総務課長　そこもいろいろ分かっているところはありますが、全体の中の一部しか分かっていないかもしれないので、いずれにしても火曜日に全部御説明しようと思います。

○記者　よろしくお願いします。

○司会　ほかに御質問はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—